

# 北海之光

## 3月号 北海道教区報

安らかに信頼している

ことにこそ力がある

イザヤ書30章15節

発行所 北海の光社

001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp

http://www.nssk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

### 「わたしたちは今、荒れ野にいる」

苦小牧聖ルカ教会牧師  
室蘭聖マタイ教会管理牧師  
司祭 サムエル 吉野 暁生

日曜日の朝、礼拝堂に誰もいない。平日の朝は見慣れた光景だけれど、日曜日の午前10時半に誰もいないのは珍しいものです。

新型コロナウイルスの流行を受けて主日礼拝は教役者のみで守るようになりました。この教会の教役者はわたし一人。だから何の不思議もないはずなのだけれども何かが変だ、という妙な不安が心に来します。

いつまで続くかわからないけれども、この期間はわたしたちの「祈り」と「信仰」が問われているのだらうと思います。おりしも教会は「大齋節」の真ただ中。今のこの状況は、まさにわたしたち自身荒れ野に放り出されたのと同じようなものだと感じます。霊に導かれて荒れ野へ

行ったイエスは「断食」と「祈り」によってこの時を過ごされたのです。

わたしたちクリスチャンは毎日曜日に聖餐を受けることで一週間を過ごす力を得ています。今わたしたちはみな、聖餐という「霊の糧」を受けることができないう状況です。そう、強制的に「霊的な断食」をさせられている状況なのです。え？ わたしは毎週教会に行っていないからそんなに飢えていないって？ 月一回で十分だって？ 現在堅信受領者になるのは年に二回行けばいいんだらうって？

それは大変です。そんなことを言っているあなたの魂から「渇く」という叫びが聞こえています。イエスは「人はパンだけで生きるものではない。神の口

から出る一つ一つの言葉で生きる」と悪魔に答えました。「聖餐」は肉の食事ではなく霊の食事です。わたしたち自身にとって「聖餐」とは何なのか考える良い機会だと思います。

「祈り」というのは不思議なものです。わたしたちはクリスチャンとして、様々なことを祈りをもって始め、祈りをもって終わるように教えられています。だからこそ朝、短い時間かもしれないけれど祈って、聖書を少し読んでから一日を始めないと何となく調子がくるってしまうことがあります。あまり読み返すことはないかもしれませんが、祈り書には折々の祈りの言葉がありますし、「祈りの葉」のような様々な時のための祈りの冊子も多く発行されています。普段「祈る習慣がない」と豪語される方もたまにおられますが、今わたしたちは「荒れ野」にいるのですから、「祈り」をもって対抗しなければ、あつという間に悪魔の誘惑に流されてしまうでしょう。「祈り」とはそもそも、神さまと

お話しすることです。決まった言葉だけでなく、神さまにわたしたちの心の内を話すことです。喜びも、不安も、おそれも、怒りも、すべてを神さまにお伝えするのです。最初のうちはよくわからないかもしれませんが、祈っているうちに、わたしたちの霊が、神さまとつながっていることがだんだんとわかってくるのです。

今、わたしたちは荒れ野にいます。イエス様も霊に導かれて荒れ野に行った当初は、いつまでここにいるのかわからず、不安になることもあつたに違いありません。だから、わたしたちが不安になるのは当たり前なのです。でも大丈夫。神さまはわたしたちに耐えられないような試練は与えられません。必ず荒れ野から戻ることができる日がやってきます。その時まで「断食」と「祈り」をもって、わたしたち自身を支えましょう。その時が来れば、大きな喜びをもって「霊の糧」を受け、再び出会った信仰の仲間たちと共に喜び歌いましょう。



—心の窓をひらき—

## 福音と私(二三五)

今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか

旭川聖マルコ教会信徒

ジュリアおたあ 鮫名由美



好きな聖句

さて、ファラオが民を去らせたとき、神は彼らをペリシテ

街道には導かれなかった。それは近道であったが、民が戦わねばならぬことを知って後悔し、エジプトに帰ろうとするかもしれない、と思われたからである。  
(出エジプト記二二章一七節)

「遠回りに見えても」

私は初めて教会に行つたときのことを覚えていない。たぶん、三歳か四歳頃に一歳年上のクリスチャンホームで育つた幼なじみに連れていかれたのだと思う。それが今の同盟基督教団日高キリスト教会で、私の母教会でもある。教会は私にとっていじめか

ら逃れられるかくれ家だった。安心していられる自分の居場所だつたと思う。

高校生の頃、毎週土曜日O MFの宣教師館で超教派の高校生会があり、そこで友達になつたYちゃんが聖マルコ教会に通つていた。私自身は福音派の教会に通つていたので、何度か誘われて礼拝に出たことがあつた。高校三年の中頃、洗礼準備クラスにいたのだが、どこか今一歩踏み出せない自分がいた。その状態で、いかにも「私は神を信じている」という顔をして教会のイスに座るのは、教会の人達に、神に、そして自身身にウソをついているような気がして教会へ行かなくなつ

感謝 北海の光献金(敬称略)

た。

それでも、ラジオでの福音放送を聞いていて「そのままの姿でいい。」と背中を押されて教会に戻り、受洗したのは二一歳のときだつた。

その後、もう一度教会をはなれた。高校を卒業後、一旦戻つた実家を出て旭川で一人暮らしをはじめた頃だつた。

ただ、前の時とは違って教会をはなれたとは言つても神からはなれたわけではなかつた。その間に結婚もしたが、自分なりに折つて決めたし、教会には行つていながつたが

夫には「私は自分の信じる神の前で結婚式を挙げたい。」と言つて、ホテルのチャペルではあつたがキリスト教式で

挙式した。夫は「あなたにとつてはそれが大事なことだろうから。」と一切反対しなかつた。今でも私が教会へ行くことに對して何も言わないし、協力的ですらある。

その後、とある教会へ導かれた。

二度(沖縄と韓国)のアジ

ア女性大会、恩師と呼べる方との出会いなど、楽しいこと、嬉しいことも多くあつた。でも辛いこと、かなしいことも

それ以上に多くなり、自分の居場所だと感じられなくなつて、「少しの間、教会からはなれない。」と申し出て教会

を出た。非難轟轟だつた。仕方あるまい。でも、私は黙つて教会を去つていく人たちをみて、卑怯だと思つていたので、同じようにすること

を望まなかつたのだ。

三カ月間、どの教会にも行かずに日曜日を過ごしていた中であのYちゃんに相談して、聖マルコ教会の扉をあけたのだつた。

広谷司祭の説教をきいていて、『これが私のききたかつた説教だ。』と感じた。さらに、前の教会の教育担当牧師引退感謝会に招かれて行つたときに、主任牧師から「こんにち

は」と挨拶されて『おかげりじゃないんだ。私の教会

じゃないんだ。』と思つてしまった。そして、『このまま

の状態では、どちらの教会にも失礼だ。』と思うようになり、じっくり考えた末に広谷

司祭に「この子にしてください。」と申し出て、「堅信式をもつて教会籍をうつす」と

となつた。

教名は自分で決めた。小学四年生頃に呼んだ、ジュリアおたあの伝記風の物語を覚えていたのだ。異国で生まれ、

クリシタンとして育てられ、幾度となく配流されながら固く信仰を守り続けた彼女に近づきたいと願う。

冒頭の聖句にあるように、神は最初から遠回りをさせてイスラエルの民をカナンへと導かれた。そこには神の計らいがあつた。私も神の計らいの中にあることを信じて歩んで行きたいと願わされている。

### 常置委員会報告

第四回 二月一〇日

#### 《協議事項》

- 一、信徒奉事者推挙の件
- ・各教会よりの推薦を承認した。
- 二、教区礼拝説教者の件

- ・候補者の検討を行った。
- 三、植松主教首座主教退任後のWCRPの件。
- ・六月での首座主教退任後も、WCRP五〇周年集会(一月に予定)まで植松主教が理事長職を続ける事を承認した。

- 四、春の教役者人事に関する件
- ・主教の諮問に同意した。
- 五、CCEA東アジア青年大会参加者補助の件
- ・八月にフィリピンで開催される同大会への二名の参加を承認し、教区より補助することとした。

- 六、U二六全国集会補助の件
- ・二月に大阪で開催される同集会の参加希望者(四教会・一名)に対し、教区より補助する事とした。



## 主教室より

今年一月二五日土曜日、献体をしていた母の遺骨が戻ってくるというので、一年ぶりに家族が大阪に集まりました。

翌日の日曜日は私にとつて最初に牧師として遣わされた大阪聖三一教会に妻と娘も一緒に行きました。ここは私が主教になる前、牧師として勤めた唯一の教会です。礼拝堂と、築八〇年を過ぎた牧師館と会館も老朽化し、今年新しく建て直すというのを聞き、どうしてももう一度訪ねたいと思っていたのです。

礼拝堂は古ければ古いほど、人々の祈りに満ちています。その祈りの力を全身に感じます。昔のままの礼

拝堂でした。この礼拝堂で何度涙したことが、何度挫折を覚えたことが。また小さかった私の子どもたちも信徒の方たちに育てられました。この日、懐かしい信徒のお一人おひとりのお顔を見ながら説教壇に立ち、胸がいっぱいになりました。天国に逝かれた方も多くおられます。まだ三四歳だった私は、牧師としてその方たちに育てられました。初めて牧師館に住む妻にとつては、婦人会の方たちがお母さんでありお姉さんであり、とても大事にしていた、できました。私が牧師館を空けることも多いので、番犬用にとどこからか仔犬ももらってきてくれ、みんな可愛がりました。悲喜こもも、辛いことも

たくさんありましたが、人と人の交わりを神さまは祝福してくださっていると確信することに溢れています。

私がいた頃に青年だった人たちが、今ではその教会の中心となっている姿に感動し、子どもだった人たちのまた子どもたちが駆け回っていることに喜びを覚えました。若気の至りから、やる気満々で牧師となり、いろんな挫折を味わってだんだんと自分の限界も知らされ、その中で本当に人のつながりの温かさを教えてもらった私の原点となる教会でした。

これから造られる新しい礼拝堂、牧師館、会館にも益々祈りが込められるようにと願っています。

主教 ナタナエル 植松 誠

佐藤百合子(東京都)

### 堅信式受領 おめでとう

旭川聖マルコ教会

マリア 古田 富美絵  
二月一六日

### 十 教区逝去教役者 記念聖餐式

四月八日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 ジョン・バチラー  
一九四四年四月二日

司祭 宇田 梅太郎  
一九五一年四月三日

主教 上田 一良  
一九七二年四月五日

主教 天城 英明  
二〇一〇年四月五日

伝道師 ルイザ・アンデレス・バチラー  
一九三六年四月六日

司祭 荒砥 琢哉  
一九三二年四月一三日

伝道師 田中 末吉  
一九七八年四月一四日

伝道師 芥川 清五郎  
一九二七年四月一五日

司祭 木村 信一  
一九七八年四月一五日

司祭 小貫 安貞  
一九七一年四月一六日

伝道師 臼田 うめ  
一九五八年四月一八日

伝道師 三ツツチン・オックスラド  
一九二二年四月二〇日

伝道師 迎 泥五郎  
一九五四年四月二三日

司祭 山田 安間  
一九二四年四月二四日

司祭 小貫 嗣夫  
一九八一年四月二五日

伝道師 江賀 寅三  
一九六八年四月二八日

伝道師 バチラー 八重子  
一九六二年四月二九日

司祭 篠塚 長治郎  
一九五〇年四月三〇日





▽旭川聖マルコ教会

二月は逝去者記念礼拝と被  
 献日の礼拝で始まりました。  
 礼拝後に堅信受領者総会を開  
 催、おにぎり昼食をはさんで  
 の「マルコの家族会議」は内  
 と外への働きを確認した会議  
 でした。九日は婦人会主催  
 被献日の集いを行い句会もあ  
 り、桜餅もあり楽しい一時で  
 した。翌一六日は主教巡回  
 日。半年ぶりに主教様ご夫妻  
 をお迎えしての礼拝、またマ  
 リア古田富美絵さんが堅信式  
 を受けられ嬉しい日となりま  
 した。怖い感染症対策で二三  
 日から陪餐はインテイク  
 ションの形で。大斎節が始ま  
 り、心の悪魔と慎みの生活で  
 外部の感染症悪魔を追い払い

ましよう。

保育園は餅つき大会を楽し  
 み、今はコロナをにらみなが  
 ら卒園の時期を迎えていま  
 す。

▽岩見沢聖十字教会

二月一日、札幌キリスト教  
 会にて被献日礼拝。有本姉、  
 井上姉、畠山姉が恵みに与る。  
 一六日・聖日、ミカエルの

佐藤ご夫妻、日本イエス・幌

向小羊教会の武藤直也兄が出  
 席。佐藤兄から昭和四〇年代、  
 教会・幼稚園の土地選定につ  
 いてお聞きする。娘さんの菊  
 地和子姉は、当園の園長。神  
 様の不思議なご計画に感謝。

新型コロナウイルスの影響で年長によ  
 る札幌滝野のスキー遠足が中  
 止。国、行政のリーダーに平  
 安と神の知恵が与えられ、最  
 善の政策が実行され、感染症  
 を克服できますように。

▽小樽聖公会

二月一日(土)に札幌キリ  
 スト教会で行われた被献日礼  
 拝には六名が出席。道央の婦  
 人たちを中心に、共にする祈  
 りと交わりに感謝。

二日(日)には信徒総数と

同じ出席者・委任状送付者に

恵まれたなか現在堅信受領者  
 総会が行われ、すべての報告  
 と議題が承認、または議決さ  
 れました。現状と課題をしつ  
 かりと受け止めることに加え

て、新たな取り組みについて  
 の意見交換では明るく期待に  
 満ちた話し合いができまし  
 た。

▽新冠聖フランシス教会

主日と被献日が重なるのは  
 珍しく、二〇一四年以来のこ  
 と―主教様の後期の巡回日で  
 した。「メシアに会うまでは  
 死なない」と言われていたシ  
 メオンが、宮参りの幼子のイ  
 エスさまにまみえた時に歌つ  
 た「シメオンの頌」の説教―  
 その日の午後、入院中のボア  
 ズ奥田康嘉さんが召されまし  
 た。平取から引き返して下さ  
 った主教さまに臨終の祈り  
 をしていただきました。四―  
 五日と通夜の祈り・葬送式が  
 内海、横山両司祭の司式に  
 よって執り行われました―神  
 さまの御計らいに感謝。

▽帯広聖公会

雪が少なく、今年の氷祭

りは寂しく終わりましたが、

二月は帳尻を合わせるかのよ  
 うに、よく雪が降りました。  
 九日、現在堅信受領者総会  
 が行われ、皆で一年を振り返  
 りました。また、今年から教  
 会委員に大村篤志さんが選出  
 され、新たな戦力に心強い限  
 りです。

新型コロナウイルスの蔓延  
 でいろいろな集会が中止に  
 なっていますが、来月に控え  
 た幼稚園の卒園式が無事に迎  
 えられますように、一日も早  
 い収束と今病氣と闘っている  
 方々の回復をお祈りいたしま  
 す。

▽稚内聖公会

例年なら稚内最大のイベン  
 ト、全国犬ぞり大会で賑わう  
 この季節。今年は中止となり  
 街も閑散としたまま。中止の  
 原因はコロナウイルスではな  
 く、記録的な小雪とのこと。  
 残念ではあるが、今年は一度  
 も屋根の雪おろしをしないで  
 済みそうだ。会計逼迫の折、  
 これだけは助かる。ただし水  
 道は凍ったまま。春にはチャ  
 ント水が出ますように！二八

▽留萌キリスト教会

とても雪が少ない冬です。  
 吹雪もなくて、つくづく今年

日、大斎節の礼拝。礼拝後、

近況を語り合う。イースター  
 礼拝は、四月一九日に行うこ  
 とに。  
 〈流水の白刃の風や宗合岬(そ  
 うやざき) わぶん〉

▽平取聖公会

二月二日に後期の主教巡回  
 がありました。植松主教は今  
 年六月の管区総会で首座主教  
 職を終え、もう少して北海道  
 教区主教職も定年を迎えると  
 の事でした。

説教の中で今年開催される  
 ランベス会議に参加される主  
 教の中で、経済的に厳しい  
 方々のために献金を捧げて欲  
 しいとの要請がありましたの  
 で、教会として出来るだけの  
 協力をしたと信徒に献金袋  
 が配られました。

コロナウイルスのまん延に  
 より三月一日から一五日まで  
 の間、各家庭に留まり祈りの  
 時を持つこととなりました。

▽留萌キリスト教会

とても雪が少ない冬です。

の冬は楽だと話しています。

少人数で礼拝をしています。二月は毎週ゲストが来ておられました。縁のある方、初めて来られた方、久しぶりの方など。大町美幸さんも母教会であるこの教会で、共に祈りを捧げました。

二月は慣習の読書会。中村哲医師の対談を読んでいきます。アフガンで働き、平和を実現すべく灌漑水路や井戸を作ったその実践に、本当に凄いものだと口々に感嘆の声が溢れます。

▽札幌キリスト教会

月報「天路」が、カラーで発行となり教会の動きが分かり易くなりました。二月一日、道央分区被献日礼拝、鈴木幸夫さんより「生き物のつながりとワイルドライフマネジメント」の講演を聴きました。一三日に佐々木恵人さん、一八日に鴨川ツル子さん、二七日に蓼沼豊さんが逝去。召されし霊の平安を祈ると共に、残された信仰の証に学びました。子どもの教会は、若者達を中心となり新たな取組

みに向け手探りが始まっています。サーバー奉仕に藤井奏和さんが、オルガン奉仕に宮本実さんが加わり、新たな息吹を感じています。

▽札幌聖ミカエル教会

一日、婦人会被献日礼拝に一三人出席。一四日、昨年一月以来のロザリオの祈り。やっぱり祈り合うっていいですよ。二六日夜、灰の水曜日礼拝を行う。「塵に帰らなければならぬことを覚え、罪を離れてキリストに忠誠をつくす」覚悟をともにする。直井岳さんは、四月より聖公会神学院の信徒コース(一年間の課程)に入学が決まる。信仰的にも人間的にも成長して帰って来られるよう、みんなが待っています。新型コロナウイルスの脅威ひしひしと迫る。でもだいじょうぶ。キリストがともにいるから。これ以上の備えはない。二四日、マルタ東 陽子さん逝去。主の平安がありますように。

▽新札幌聖ニコラス教会

二月二日、現在堅信受領者

総会を、管理司祭下澤先生陪席下さり、持ちました。審議のあと、これからの教会について、自由に発言の場を持ちました。

六日、バルナバ滝田巖さんが、主の御もとに召されました。誠実な人柄で、アンモナイトにこよなく魅せられた人でした。

第四主日には福島先生がいまして、聖餐式。礼拝後、樺太伝道についてのお話。明治からの少人数で始まった、信仰者の歩みに、しばし心を傾ける時間でした。

▽紋別聖マリヤ教会

二月に入り、例年にならない積雪でしたが、オホーツク地方中心に暴風雪が続き、あつという間に例年と肩を並べる程の積雪になりました。

また、二月独特の厳しい冷え込みと強風に誘われて、紋別の冬の風物詩「流水」も一気に南下して、肉眼で確認できる程まで接近・接岸しております。今シーズンは「流水」を進まない流水砕氷船・ガリンコ号Ⅱ」と週刊誌みた

いな不評をいただきましたが、見事に帳尻が合いました。

▽有珠聖公会

二月二日聖餐式の後、堅信受領者総会が開かれました。

総会では、四月の「三浦綾子読書講演会」、一〇月の「教会バザー」、二月の「クリスマス・コンサート」の例年の三行事の開催を確認しました。

屋外環境整備に皆で取り組み計画が話し合われました。

また、五月の胆振三教会合同礼拝の当番を、今年是有珠がします。野外ジンギスカンで皆さんをお迎えするための様々なアイデアが出されるなど、熱心な話し合いが続きました。

▽聖マーガレット教会

二月二日(日)被献日聖餐式後、二〇二〇年度現在堅信受領者総会を開く。出席者二二名。委任状によって、辛うじて開会成立。すべての議案を承認し無事終了。極寒の折、集まってくくださる信徒の方々に感謝。

二月二四日(月)使徒聖マツテヤ日。ローマ・カトリック教会では五月に聖マツテヤの祝日がある。「くじ」で選ばれた使徒の足跡は伝説こそあれ、よく分かっているということ。神の選びは恵みによること。神の選びは恵みによること。司祭は語る。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

暖冬少雪の釧路・厚岸地方です。四月より新体制に移行する頌栄保育園では、園長を先頭に諸準備に専心、緊張感に包まれています。

九日待望の主教ご巡回日、保育園の職員の皆様、厚岸より佐田里美さん、嬉しい事に教会初めての方お二人を含め四〇数名が集い感謝と賛美のお礼拝をお捧げしました。

二月お誕生の主教様、手作りのケーキでの誕生会は釧路の定番です。ご夫妻が地方教会を大切に暖かく見守って下さる思いやりに一同感謝です。怪我で長期入院の津田正子さんは自宅へ戻り厳しいハビリテーションに通い礼拝に出席できる日を待ち望んで

います。

二三日、山本寿福兄としかずの逝去一周年記念礼拝が行われ兄弟の信仰生活の足跡をしのびました。

#### ▽深川聖三一教会

二月二日被献日、信徒総会を神殿で奉献する思いで開催。同日婦人会総会、席上献金が豊かにささげられる。終了後全員で教会報と総会資料の発送作業。一日、保育園職員会議。新職員学童担当に

置田幸子さん就任される、感謝。一五日、厚生労働副大臣稲津氏視察来訪され岡本園長、職員一同歓迎接待す。管理司祭の代行で統計報告を教区・管区へ届ける。一八、一九日教区施設園長・チャプレン協議会に岡本園長と甲斐チャプレン出席す。二六日、ポニフェス寺岡義人氏のお別れ会、教員会葬す。

#### ▽網走聖ペテロ教会

流水も接岸し、砕氷船の運も行も始まった。

二日、世界祈禱日で用いられる聖歌の練習と、朗読箇所の確認と打合せが行われた。

二三日、信徒総会。昨年度

の活動報告、決算報告、新年度の予算、活動計画の発表・確認が行われ、新年度のそれぞれの抱負を分かち合った。

飯野先生は、退院後、回復に向かっている。

網走聖ペテロ教会のことを覚えて祈って下さる人々に、ただただ感謝。主は、この小さな群れをお守りくださっている。

#### ▽北見聖ヤコブ教会

ストーマ閉鎖手術をした司祭は一〇日間入院し二月八日に退院。一四日、網走刑務所の教誨。一五日、ホームの青年と空き地や駐車場の除雪をし一六日の総会に臨み、互いの抱負に耳を傾け合いました。水落しはしていただきました。不凍液を流し込んでいなかったため、牧師館のトイレが凍結破損、便器が新しくなりました。YMCAの委員会でいつも福音を語ることが出来ることを感謝。YMCAの

年長組さんの当教会での礼拝や、世界祈禱日は、新型コロナウイルスの関係で延期となりました。

りました。

#### ▽函館聖ヨハネ教会

一日、ソフィア市川登美子姉の逝去記念式が行われる。一六日、国際ギデオン協会の方が来られ奨励と証を頂き席上献金を捧げる。大斎節の学びとして『いまさら聞けない聖公会の基本』を礼拝後に皆でお勉強。聖公会手帳ですごい！二三日、日曜学校

の子どもたちが焼くパンケーキの日、生クリームとイチゴをトッピングし完成したパースデイケーキを司祭さんにプレゼント。お腹が満たされ学びを忘れ、手にするプリントで早速復習、「いまさら聞けない」。

#### ▽苫小牧聖ルカ教会

昨日まで乾いていた道路が、一晩で雪道になっている事が多い月でした。「冬と春のおしくらまんじゅう」というラジオの投稿になるほどと納得。礼拝堂の土足化は少しずつ慣れてきて、足元も温かいです。教会委員会では大斎節集会の予定やイースターの日程等の確認をしています。

また今年の聖ルカみその仕込みが三日間に分けて行われました。このみそには園児のファンも多いです。幼稚園の豆まきには今年も怖い鬼が登場。捕まった子は「良い子になります！」と何度か約束していたそうです。一日入園には二〇人ほどが来てくれました。入園予定は二五人です。早く子ども達も安心して元気に遊べるようになってほしいです。

#### ▽今金インマヌエル教会

二月二日の礼拝の後、本年度の総会が開かれました。新しい気持ちで皆さんと共に進めてゆこうと思っていた矢先に、今回のコロナウイルスの広がりに。特に北海道は他地域より激発状況。まさか礼拝にも行けず個人で祈りの時を持つまでになるとは予想もしていませんでした。今はあまり世間の噂などに惑わされぬよう、健康管理をはじめ、限られた内のできることをしてゆくしかないと思います。

いつもより雪は少ないですが、もうすぐ雪どけです。四月には主教様をお招きして種の祝福があります。我々農民にとっては特にドキドキと、ときめく瞬間です。この状況がいっまでも続かぬよう祈り、復活の日を迎えたく思っています。

#### ▽室蘭聖マタイ教会

今年は雪が少なく陽も照っている事が多く明るい冬です。でも白藤久枝さんを失った淋しさは主日毎に強く、オルガンはもとより聖餐の準備等、すべてに心配りして下さったことを今更思って言葉少なだった故人を偲んでいます。啓子さんがヒム・プレーヤーを献納して下さって礼拝の聖歌は皆元気に声をあわせて歌っています。九日、堅信受領者総会を行いました。吉野司祭が毎週週報と短い説話をお届け下さって感謝です。

いつもより雪は少ないですが、もうすぐ雪どけです。四月には主教様をお招きして種の祝福があります。我々農民にとっては特にドキドキと、ときめく瞬間です。この状況がいっまでも続かぬよう祈り、復活の日を迎えたく思っています。

